2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月９日

上場会社名　　株式会社中西製作所　　上場取引所　東
コード番号　　5941　　ＵＲＬ　https://www.nakanishi.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）中西　一真
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経営企画室長　（氏名）吉川　日出行　　ＴＥＬ　03-6679-3007
半期報告書提出予定日　　2026年11月９日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	18,590	9.9	775	42.5	865	39.9	552	41.9
2026年３月期中間期	16,912	1.5	544	△14.4	618	△14.5	389	△14.9

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	88.82	―
2026年３月期中間期	62.56	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	33,079	22,191	67.1
2026年３月期	33,899	22,475	66.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　22,191百万円　2026年３月期　22,475百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	110.00	110.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	0.5	2,400	△21.3	2,500	△21.1	2,000	△9.5	321.86

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	6,306,000株	2026年３月期	6,306,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	86,421株	2026年３月期	92,108株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,216,036株	2026年３月期中間期	6,218,202株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の詳細につきましては、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇や為替相場の変動、海外景気の下振れリスクなど、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。また当社が帰属する総合厨房機器業界におきましては、原材料価格の高止まりや運輸コストの増大など先行きは依然として予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社は中期経営計画に基づき、食中毒や異物混入問題といった「食の安全・安心」という基本的課題に真摯に向き合い、労働人口減少社会にも対応できる自動化・省力化を突き詰めた製品の開発に努め、また様々な顧客ニーズに対応した厨房機器・厨房システムの提案を心がけることで、業績の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は185億90百万円（前年同期比9.9%増）となりました。利益につきましては、売上高総利益率が原価高の販売価格への転嫁により前年同期より1.9ポイント上昇し、社員給与のベースアップや旅費交通費の増加等による販売費及び一般管理費の増加分を吸収した結果、営業利益は７億75百万円（前年同期比42.5%増）、経常利益は８億65百万円（前年同期比39.9%増）、中間純利益は５億52百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

なお、当社は、業務用厨房機器製造販売事業の主要販売先である学校給食関連の納期が夏季及び年度末に集中しているため、売上高が７月～９月及び１月～３月、特に３月に多くなる傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①業務用厨房機器製造販売事業

業務用厨房機器製造販売事業につきましては、売上高は185億42百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は７億53百万円（前年同期比44.1%増）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、売上高は47百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ８億19百万円減少し、330億79百万円となりました。これは主に、仕掛品が14億16百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が25億40百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ５億36百万円減少し、108億87百万円となりました。これは主に、短期借入金が５億円増加したものの、買掛金が９億80百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ２億83百万円減少し、221億91百万円となりました。これは主に、中間純利益を５億52百万円計上した一方で、剰余金の配当６億83百万円を実施したことや、評価・換算差額等が1億66百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて５億24百万円減少し、当中間会計期間末には30億６百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は４億54百万円（前年同期は獲得した資金12億14百万円）となりました。これは主に、棚卸資産が17億90百万円増加、仕入債務が９億46百万円減少したものの、売上債権が27億21百万円減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は６億11百万円（前年同期は使用した資金３億89百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が２億４百万円、無形固定資産の取得による支出が１億円、有形固定資産の取得による支出が３億90百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は３億67百万円（前年同期は使用した資金７億３百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加額が５億円あったものの、配当金の支払額が６億81百万円、長期借入金の返済が１億66百万円あったことなどによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期業績予想や配当予想につきましては、現時点において2026年５月８日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,531,115	3,006,356
受取手形及び売掛金	9,280,722	6,739,942
電子記録債権	622,804	716,176
商品及び製品	1,839,701	2,126,563
仕掛品	1,002,976	2,419,589
原材料及び貯蔵品	1,024,721	1,106,155
その他	540,180	574,186
貸倒引当金	△990	△745
流動資産合計	17,841,232	16,688,225
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,167,950	3,081,597
土地	4,754,054	4,966,909
その他（純額）	2,537,506	2,630,165
有形固定資産合計	10,459,511	10,678,673
無形固定資産	424,072	370,493
投資その他の資産		
投資有価証券	4,340,560	4,418,254
前払年金費用	278,193	293,222
その他	694,509	769,556
貸倒引当金	△138,555	△138,832
投資その他の資産合計	5,174,708	5,342,201
固定資産合計	16,058,291	16,391,367
資産合計	33,899,523	33,079,592
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,336,010	2,355,927
短期借入金	2,800,000	3,300,000
１年内返済予定の長期借入金	332,652	332,652
未払費用	438,287	494,348
未払法人税等	416,772	321,172
賞与引当金	383,729	440,015
その他	1,591,063	1,481,509
流動負債合計	9,298,514	8,725,625
固定負債		
長期借入金	820,183	653,857
退職給付引当金	794,324	802,009
繰延税金負債	1,144	42,785
再評価に係る繰延税金負債	307,738	307,738
その他	202,475	355,649
固定負債合計	2,125,866	2,162,039
負債合計	11,424,380	10,887,664

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,445,600	1,445,600
資本剰余金	1,560,631	1,561,476
利益剰余金	19,290,016	19,158,613
自己株式	△216,772	△203,388
株主資本合計	22,079,475	21,962,301
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,300,595	1,141,461
繰延ヘッジ損益	11,507	4,600
土地再評価差額金	△916,436	△916,436
評価・換算差額等合計	395,667	229,625
純資産合計	22,475,142	22,191,927
負債純資産合計	33,899,523	33,079,592

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	16,912,578	18,590,704
売上原価	12,557,450	13,450,506
売上総利益	4,355,127	5,140,198
販売費及び一般管理費	3,810,639	4,364,438
営業利益	544,488	775,759
営業外収益		
受取配当金	49,312	69,758
仕入割引	15,765	－
スクラップ売却益	10,833	12,566
保険解約返戻金	－	28,901
その他	8,959	26,350
営業外収益合計	84,871	137,576
営業外費用		
支払利息	5,034	19,076
為替差損	4,624	－
立退料	－	27,000
その他	1,350	2,229
営業外費用合計	11,010	48,306
経常利益	618,348	865,030
特別利益		
固定資産売却益	3,102	－
特別利益合計	3,102	－
特別損失		
固定資産除却損	11	355
特別損失合計	11	355
税引前中間純利益	621,439	864,674
法人税、住民税及び事業税	211,517	296,969
法人税等調整額	20,917	15,579
法人税等合計	232,434	312,549
中間純利益	389,005	552,125

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	621,439	864,674
減価償却費	272,392	300,264
賞与引当金の増減額（△は減少）	52,012	56,286
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,285	32
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△57,154	△65,569
前払年金費用の増減額（△は増加）	△7,532	△15,028
受取利息及び受取配当金	△50,134	△71,043
支払利息	5,034	19,076
固定資産売却損益（△は益）	△3,102	－
固定資産除却損	11	355
売上債権の増減額（△は増加）	2,864,570	2,721,948
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,031,298	△1,790,824
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,047,663	△946,258
その他	273,409	△283,073
小計	1,882,699	790,839
利息及び配当金の受取額	50,134	71,043
利息の支払額	△5,037	△19,798
法人税等の支払額	△712,817	△387,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214,979	454,507
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,000	△390,951
有形固定資産の売却による収入	10,750	－
有形固定資産の売却に係る手付金収入	－	130,000
無形固定資産の取得による支出	△76,139	△100,808
投資有価証券の取得による支出	△188,043	△204,833
短期貸付金の増減額（△は増加）	△177,300	△100
長期貸付金の回収による収入	134,952	－
保険積立金の積立による支出	△13,169	△13,169
その他の支出	△38,397	△32,361
その他の収入	－	397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,347	△611,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	100,000	500,000
リース債務の返済による支出	△9,734	△19,085
長期借入金の返済による支出	－	△166,326
配当金の支払額	△544,056	△681,524
自己株式の取得による支出	△248,758	－
その他	△501	△501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△703,050	△367,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	122,581	△524,758
現金及び現金同等物の期首残高	2,996,532	3,531,115
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,119,114	3,006,356

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月26日開催の取締役会決議に基づき、2026年７月24日付で取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式5,687株を処分しており、処分差額を資本剰余金に計上しております。

この結果、当中間会計期間において自己株式が13,384千円減少、資本剰余金が844千円増加し、自己株式が203,388千円、資本剰余金が1,561,476千円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間財務諸表計上額
	業務用厨房機器製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,861,794	50,784	16,912,578	－	16,912,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	16,861,794	50,784	16,912,578	－	16,912,578
セグメント利益	522,553	21,934	544,488	－	544,488

（注）各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間財務諸表計上額
	業務用厨房機器製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,542,836	47,867	18,590,704	－	18,590,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	18,542,836	47,867	18,590,704	－	18,590,704
セグメント利益	753,040	22,718	775,759	－	775,759

（注）各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。